

松の庚子ども園の保育教育

いつのことだか思い出してごらん  
あんなことこんなこと

あったるしょうり

つい昨日まで、園内どこに居ても  
聞こえていた可愛げの歌声です。

マコちゃん組22人の子どもたちは「寒  
しかったこと面白かったこと、いつにな  
りも言いたくない」と、声を揃えて兼  
立ちの目を迎え、明日に向けて翔い  
て行きました。

そして今日、新しいお友だちを迎え  
松の庚子ども園は新しい年度を迎  
えています。

ご入園おめでとうございます。  
ご進級おめでとうございます。

玄関前のプランターでは、チューリップ  
が日に日にたくましく伸びてきました。第  
二の園庭、芝生中央公園では桜の  
花芽が開花を待ちわびるように、

大きくなってらんぞ見えるようにになり  
ました。

どちらか春を待つお友だちの成長  
にそっくり重なるように思えて、これ  
からの期待が一層膨らみます。

けれども、初めて集団生活に入るお  
子には不安や緊張が入る、四月  
です。

一方、ひとつ大きな進級した子ど  
もたちにとってもお部屋や担任の先生  
がわり、新しいお友だちを迎えて  
何となく落着かない、これが毎年  
四月の定番風景です。

そして四月は、ひとりひとりの不安  
や緊張とできるだけ早く取り除き  
お友だちとの関わりに興味をもち、  
園生活が楽しくなるように、職員一  
同、「あったかいふれあい」を第一に  
ゆったりとした保育を心掛ける参り  
ます。  
どうぞお家では、「何をして来たの、  
面白かった？」お友だちはできた

かな、などと遠慮し過ぎないよう  
にして、見守る心を持ってくださいなよ  
うお願いいたします。

子どもが自ら育つ力を信じて、自らの  
育ちの芽を摘み取るような引き伸  
ばしや教えた込みを慎み、ひとりひと  
りの今ある育ちを支え、その育ち  
に学んで先の見通しを五こ支援  
し続けることが大人の役割です。

松の庚子ども園の保育教育目標  
「丈夫な心と元気なからだ」に向  
かって、保護者皆様との連携を念に  
信頼と協調の輪の中、子どもが  
子どもらしく、明かると元気に伸び  
伸びと育ちますようお願い。と  
願い新たな新年度を迎えました。  
今年度も保護者皆様と共に、子ど  
もの「元気、意気、笑顔」あふれる  
毎日にしていただきますようお願い。  
どうぞよろしくお願いたします。

園長 福田孝子